

【現状と課題】

- ◆ 本県への観光入込が伸び悩む状況において、訪れてみたいと思わせる観光地づくりを推進することが必要
- ◆ 県産食品群のブランド化と販路の拡大を進めることが重要
- ◆ 文化とスポーツを振興し地域活性化につなげる取組が必要
- ◆ 交通網の利便性向上と持続可能な地域交通の構築が不可欠

【戦略の目標】（目指す姿）

- 本県が多くの観光客に選ばれることにより、国内外からの誘客が拡大
- 県産食品の販路拡大等が進み、「食」がリードする秋田の活性化が進展
- 文化やスポーツによる交流人口の拡大が図られるとともに、多彩な文化・芸術の継承や、本県スポーツの競技力向上などが進展
- これらの活発な交流の基盤となる交通ネットワークが拡充・発展

【戦略の視点】

- 地域の関係者との連携により、本県ならではの魅力が際立つ誘客コンテンツづくりを進め、「総合的な誘客力」を強化
- 幅広い事業者と連携し、本県の食の柱となるアイテムを育成
- 東京オリ・パラを契機とした、文化の発信とスポーツ交流を促進
- 今後の技術革新を見据え、利便性の高い交通ネットワークを構築

【施策及び数値目標】

施策1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

《主な数値目標》

- 観光地点等入込客数（延べ人数）
現状（H28実績） 31,596千人 → [目標値（H33）] 34,500千人
- 外国人延べ宿泊者数（年間）
現状（H28実績） 66,950人泊 → [目標値（H33）] 200,000人泊 など

施策2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

《主な数値目標》

- 食料品・飲料等製造品出荷額等
現状（H27実績） 1,205億円 → [目標値（H33）] 1,300億円 など

施策3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出

《主な数値目標》

- 文化事業への来場者数
現状（H28実績） 449,311人 → [目標値（H33）] 470,000人 など

施策4 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

《主な数値目標》

- 成人の週1回以上のスポーツ実施率
現状（H28実績） 49.5% → [目標値（H33）] 65.0% など

施策5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

《主な数値目標》

- 県内高速道路の供用率
現状（H28実績） 90% → [目標値（H33）] 92% など

施策6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

《主な数値目標》

- 秋田県と県外間の旅客輸送人員数
現状（H27実績） 5,392千人 → [目標値（H33）] 5,567千人 など

【施策の方向性】

- (1) 国内外からの観光客に選ばれる誘客コンテンツづくりの推進
- (2) 観光客のニーズに対応した受入態勢の整備と、観光人材・事業者の育成
- (3) ターゲットを見据えた誘客プロモーションの展開
- (4) 多様なメディアや新たな手法を活用した秋田ファンの拡大
- (5) 国内外のクルーズ船の誘致と受入環境の整備

- (1) 秋田の「食」の柱となるオリジナル商品の開発とブランディング
- (2) 食品製造業の競争力強化（再掲）
- (3) 幅広いパートナー企業や流通チャネルを活用した販路の拡大
- (4) エリアやターゲットを戦略的に選定した秋田の「食」の輸出拡大と、独自性の高い誘客コンテンツとしての活用

- (1) 秋田ならではの文化資源のPRと、文化を通じた交流人口の拡大
- (2) 文化団体の活動促進と次代を担う人材の育成
- (3) 本県文化の中核拠点となる文化施設の整備

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした、スポーツによる地域活性化と交流人口の拡大
- (2) 全国や世界のひのき舞台上で活躍できる選手の発掘と育成・強化
- (3) ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進
- (4) 地域のスポーツ活動の基盤となる人材の育成と環境の充実

- (1) 交流や経済を支える高速道路網の形成
- (2) 高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網の形成
- (3) 物流・交流拠点へのアクセス機能の強化
- (4) 日々の暮らしを支える生活道路の機能強化
- (5) 地方創生の拠点としての「道の駅」の魅力の向上

- (1) 秋田への流動を支える幹線鉄道等の整備促進と利便性の向上
- (2) 空の玄関口を生かした国内外との流動の促進
- (3) 技術革新等を見据え地域の実情に応じた多様な地域公共交通の確保
- (4) 第三セクター鉄道の運行確保と観光誘客への活用

【主な取組】

- ・ 見て、触れて、楽しめる、秋田ならではの体験型観光の推進
- ・ 宿泊施設の魅力づくりや観光事業者等によるおもてなしの充実
- ・ 観光客の旅の満足度の向上に向けた受入環境の整備と充実
- 新 オープンデータやビッグデータを活用した新たな情報提供システムの導入促進

- 新 最新技術による多言語翻訳機能等の利活用の促進
- 新 デジタルマーケティングなど新たな手法を活用した情報発信の最適化
- ・ 官民一体によるクルーズ船の誘致と、本県への寄港の増加に対応した受入環境の整備

- ・ 日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化
- 新 米菓や米加工品等が新たなリーディング品目となることを目指した集中的な支援
- 新 首都圏等に向けた流通ルートの見直し等による本県の食品流通に係る課題への対応

- 新 通信販売やデジタルマーケティング等、新たな手法を採り入れた販路拡大
- 新 発酵食など本県独自の食文化の観光コンテンツとしての磨き上げと、誘客への活用

- ・ 東京オリ・パラを契機とした県内の多彩な文化事業への支援と国内外への発信
- 新 国が日本文化の魅力をおもてなしで発信する「beyond2020 プログラム」の積極的な活用

- ・ 若者をはじめとした多くの県民が参加・活動しやすい環境の整備と地域における活動支援
- ・ 本県文化の中核拠点となる県・市連携文化施設の整備
- 新 県民会館閉館中の文化団体の活動促進

- ・ 東京オリ・パラ等の開催に向けた海外からの事前合宿誘致
- ・ ホストタウン等を基盤とした海外とのスポーツ交流の促進
- ・ ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制の確立

- ・ 高齢者の健康増進を図る「円熟体操」の普及など、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進
- ・ 県有スポーツ施設の計画的な整備・改修
- 新 ホームタウンやチーム等とともに、新たなスタジアムの整備に向けた取組を推進

- ・ 日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道の事業中区間の整備促進
- ・ 国道46号「盛岡秋田道路」の整備促進
- ・ 国道105号「大曲鷹巣道路」（大覚野峠）の整備促進

- ・ 国道101号、108号、398号等の整備推進
- 新 秋田自動車道の4車線化の整備促進
- 新 秋田港アクセス道路（仮称）の整備促進
- 新 道の駅の基本機能の強化や、個性創出に向けた計画策定、人材育成の支援

- ・ 奥羽・羽越新幹線の整備計画への格上げを目指した調査・研究と国等への提案
- 新 LCCなど新規国内航空路線や、新たな国際定期航空路線の誘致に向けた取組の推進
- ・ 秋田ソウル国際定期便の再開への取組強化

- ・ 自動運転などの技術革新も見据えた持続可能で多様な公共交通ネットワークの形成
- 新 NPOや自治会による公共交通空白地有償運送など住民共助の移手段の構築への支援
- ・ マイレール意識の高揚やブランド価値の向上等による第三セクター鉄道の利用の促進